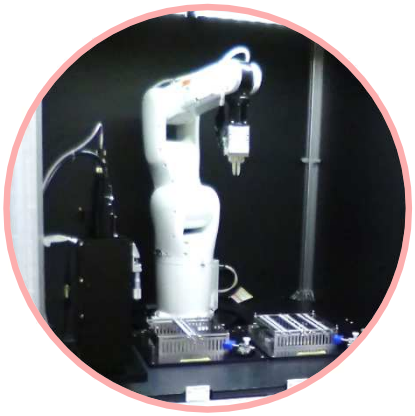
シグマ光機株式会社

# 統合報告書 2023

2023年5月期



## 経営理念

# 我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

- 絶え間ない技術革新により、お客様へ価値ある製品を提供します。
- 公正な事業活動を通じて、当社に関わる全ての人々の幸福を実現します。
- 常に持続可能な社会への貢献を意識した経営を行います。

## 社是

# 「感謝」「挑戦」「創出」

## スローガン

# 「アジアNo.1」から、「世界No.1」へ

## 重点戦略

- **お客様満足度の最大化**
- **※Q・C・D＋R＋Sを世界レベルへ**
- **技術伝承・融合・総合力**

※Quality （品質）、Cost （コスト）、 Delivery （納期）、 Response （レスポンス）、 Service （サービス）の頭文字。
シグマ光機は、製造業において重要な3要素「Q・C・D」に加えて、「+R、+S」も大事にしています。

## Contents


| | |
|---|---|
| 経営理念・目次 | 1 |
| 社長メッセージ | 2 |
| シグマ光機の軌跡 | 3 |
| 中長期経営方針 | 4 |
| シグマ光機の価値創造プロセス | 5 |
| 事業別戦略 | 7 |
| 要素部品事業 | |
| システム製品事業 | |
| シグマ光機のサステナビリティ | 9 |
| E：環境への取り組み | 11 |
| S：社会への取り組み | 13 |
| G：ガバナンスへの取り組み | 15 |
| 拠点一覧 | 17 |
| グローバルネットワーク・グループ会社 | 18 |
| Topics | 19 |
| 海外展示会出展 | |
| 「RFID」による在庫管理効率化 | |
| ブランディング | 20 |
| 財務・非財務ハイライト | 21 |
| 会社概要 | 22 |
| Pick Up 製品紹介 | 裏表紙 |

▲当社の技術センターの前で中央に近藤社長（右から3番目）。

## ●2023年5月期を振り返って

### 世界経済に先行き不透明感が高まるも、当社事業は総じて堅調に推移

世界経済の先行き不透明感が依然として高まる中、エレクトロニクス分野を中心に当社が提供する光ソリューションの需要は総じて堅調に推移いたしました。

国内・アジア地域では、電子部品・半導体業界及びバイオ業界の主要顧客向けがそれぞれ好調に推移し、フラットパネルディスプレイ業界向けなどの一部の大口案件が堅調に推移いたしました。海外地域においては、欧米市場の産業分野向けが総じて回復基調で推移いたしました。

### 原材料・部材価格及びエネルギー価格の高騰などが利益率の押し下げ要因に

原価面では、売上高の増加に伴う材料費・外注加工費等や新工場棟関連の減価償却費が増加いたしました。また、開発要素の強い新規特注案件を積極的に取り込んだ結果、一部の案件での利益率が低下いたしました。また販売管理面では、展示会への出展及び対面型営業活動の再開等による販売促進費・広告宣伝費等が増加いたしました。半面、当社の光技術の優位性を生かした利益率の高い産業分野向け製品の需要が堅調に推移した結果、期初予想は未達となったものの、前年同期比では営業利益が増加いたしました。

## ●ステークホルダーの皆様へ

### 光技術を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指す

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

気候変動、資源の枯渇、貧困問題、人権問題、…等。人々の「くらし」や「いのち」を巡る社会課題は、複雑化・深刻化が急速に進行しており、その解決に向けて、企業に求められる役割も年々拡大しております。「光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念を掲げる当社においても、社会が求める「光ソリューション」の提供等を通じて、サステナブルな社会の実現を目指しております。

当社グループは、大きく変化する経営環境に対応するため、中長期経営方針として「成長戦略の推進」、「ビジネスモデルの変革」、「事業継承・中核人材育成」、「社会貢献活動」の４つの重点戦略に取り組んでおります。光技術が持つ可能性を更に広げ、価値創造及びESG経営の推進による企業価値の最大化を図るとともに、安定的な株主還元に努め、より豊かで持続可能な社会の実現を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

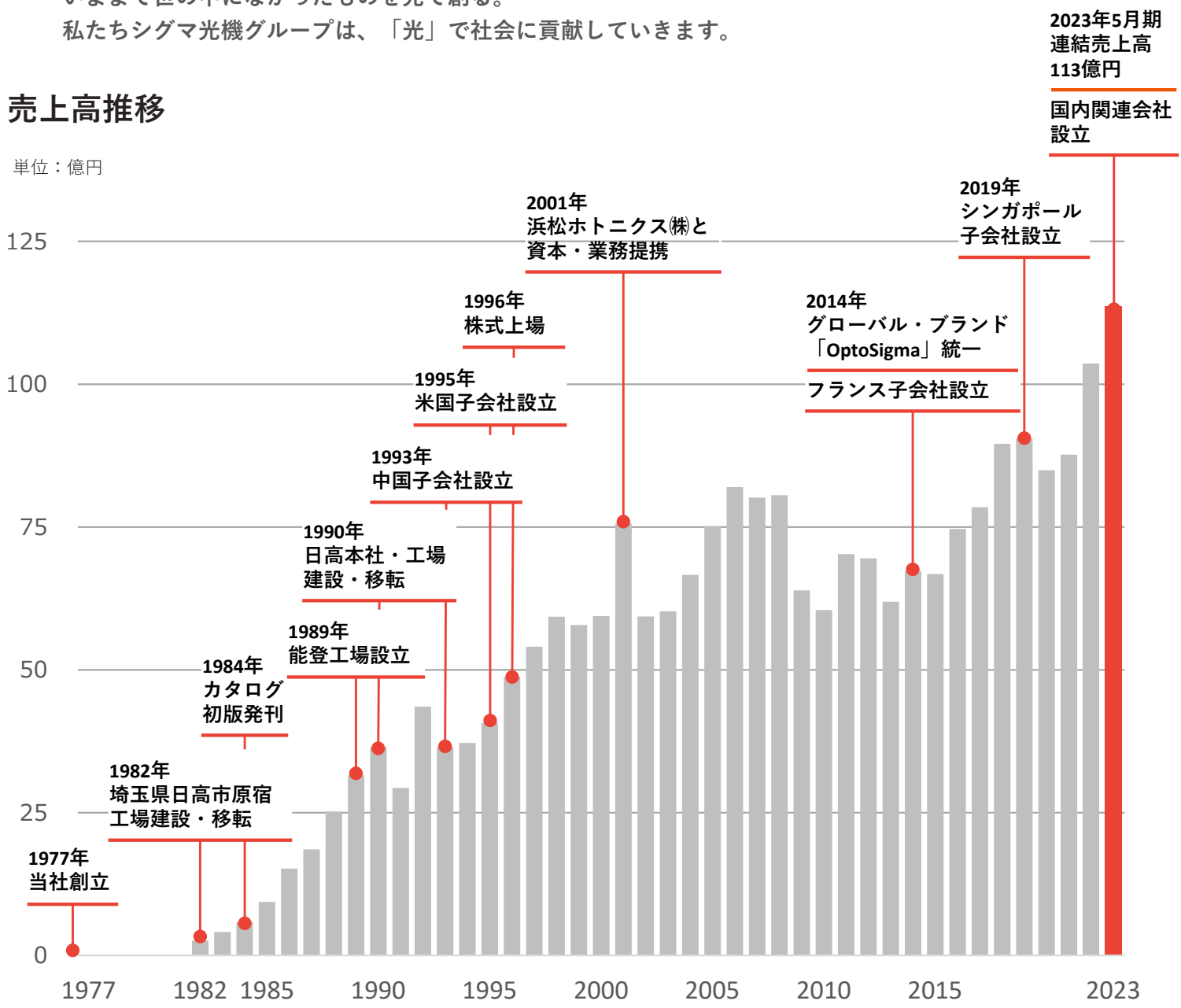
シグマ光機株式会社
代表取締役社長　近藤 洋介

# シグマ光機の軌跡

## 光なら、きっとできる。

シグマ光機は、人々の「くらし」や「いのち」に役立つ様々な分野を、
光ソリューションの提供によって支えています。
いままで世の中になかったものを光で創る。
私たちシグマ光機グループは、「光」で社会に貢献していきます。

## 売上高推移




※売上高は1982年度から記載しています。（1990年度は決算期変更により8ヵ月間の売上高を記載）

**1977年4月**

シグマ光機創立

**1980年代**

カタログ販売開始

**1990年代**

拠点拡大・上場

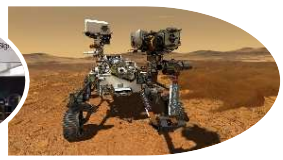
**2000年代**

産業用途向け拡大

**2010年代～**

グローバル展開加速

**2020年代～**



©NASAJPL-Caltech

光技術による社会貢献拡大

# シグマ光機の中長期経営方針の骨子

シグマ光機は「光産業を通じ、社会に貢献します」という使命の下、光技術を通じた社会課題解決に取り組んでいます。複雑化・深刻化が進む社会課題から、人々の「くらし」や「いのち」を守るため、長期的な視点に基づく戦略思考の実践と結果にコミットする企業風土に変革・実践させる「Great Reset」を推進し、大局を先見した先手対応を進めています。具体的には、2026年5月期までを目標に、持続的な成長に向けた「Great Reset」を果たすべく、「成長戦略の推進」、「ビジネスモデルの変革」、「事業継承・中核人材育成」、「社会貢献」の４つの重点戦略を強力に推進していきます。

## 中長期経営方針の概要

| | |
|---|---|
| 中長期ビジョン | **持続的な成長に向けた「Great Reset」**<br>長期的な視点に基づく戦略思考の実践と結果にコミットする企業風土への変革 |
| 事業領域 | 半導体・電子部品　バイオ　通信　航空・宇宙　量子　医療・介護　AI・ロボティクス |
| シグマ光機の強み | 光学技術力・研究開発力・ブランド力・ワンストップ対応力・品質保証体制・グローバル総合力 |

**重点戦略**　**持続的な成長に向けた価値創造とESG経営**

人々の「くらし」や「いのち」のお役に立つため、長期的な視点で先見した重点戦略を推進。

### 成長戦略の推進　「持続的な成長に向けた主要KPIの達成」

| ■主要KPI | 2023年5月期実績 | 2024年5月期予算 | 2026年5月期(3年後)目標 |
|---|---|---|---|
| 売上高（連結） | 11,367 百万円 | 11,685 百万円 | 毎年 2 ～ 5 % 成長 |
| 営業利益率（連結） | 13.2 % | 10.9 % | 15 % 以上 |
| ROE（連結） | ※7.5 % | 5.9 % | 8 % 以上 |

※固定資産売却益による特別利益の影響を除く。

### ビジネスモデル変革　「会社の成長・利益創出のための新しい挑戦・仕組み作り」

- ◆ 医療・介護・バイオ分野への展開
- ◆ 量子分野への展開
- ◆ 高精度・高分解能な測定・検査装置の開発
- ◆ 創エネルギー・蓄エネルギーへの取り組み

### 事業継承・中核人材育成　「次世代経営幹部の育成」

- ◆ 次世代経営幹部の育成
- ◆ 女性経営幹部の育成
- ◆ 海外グループ会社の経営体制強化
- ◆ ガバナンスを実践する経営管理体制の構築

### 社会貢献　「Light Solutions for Life®」

- ◆ 国内外の教育支援
- ◆ 脱炭素社会の実現
- ◆ 医療・介護・福祉分野の支援
- ◆ ジェンダー・ダイバーシティへの対応

# シグマ光機の価値創造プロセス

お客様が欲しいものをカタチに。シグマ光機は、お客様の「欲しい」の種を見つけて、
設計から加工・組立・検査・販売までワンストップで対応しています。

## 環境認識

- 基礎研究・原理究明
- IT化・DX化と高速通信
- 超精密製造・超精密検査
- 長寿命・健康社会実現
- 少子・高齢化（労働力減少）
- 人材確保・人材育成
- 自然災害・事業継続
- 環境問題（脱炭素等）

## シグマ光機のコア・コンピタンス

### 経営理念

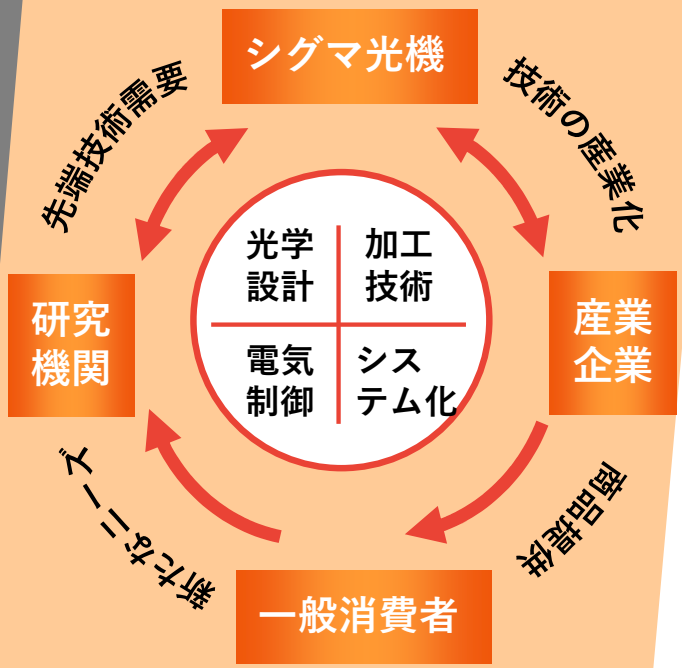
光産業を通じ、
社会に貢献します。

### サステナビリティ

E・S・G経営

### 組織風土

「感謝」・「挑戦」・「創出」




## 事業活動

### ビジネスモデル

パーツ、モジュール、ユニット、アプリケーションまで。
設計⇒加工・組立⇒検査⇒販売をワンストップ対応

### 強み

・長年蓄積された光学技術
・ソリューション提案力
・幅広い業界ブランド力

### アプローチ

**マーケット**
- 成長産業への展開
- 海外認知度の向上
- Webユーザビリティの向上
- ビジネスモデルの変革

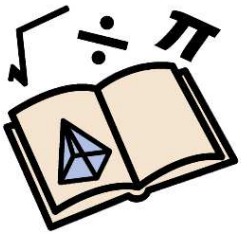
**ものづくり**
- 設備増強
- 先端技術開発・確立
- 生産技術の改革
- サプライチェーン強化

**ネットワーキング**
- グローバル連携
- 協力パートナーと共創
- 産学官連携

**人の育成**
- 衆知結集＆技術融合
- 働き方改革
- ジェンダー＆ダイバーシティ推進
- ESG経営

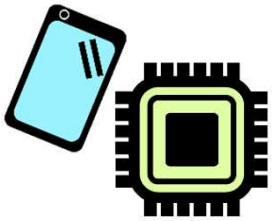
新たなニーズ・課題

## 主要マーケットとニーズ



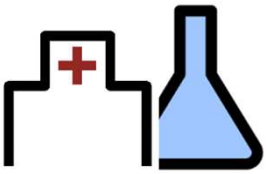
### 研究開発分野

・基礎研究
・原理究明
・新技術確立等



### エレクトロニクス

・精密微細加工
・複雑形状加工
・難削材加工
・精密検査技術

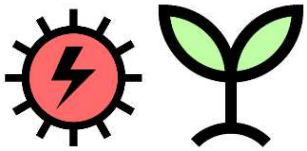


### 医療・介護・バイオ

・微小分子観察
・超高解像画像分析
・生体レーザ治療

### 宇宙・天文・通信

・超精密測定
・超精密計測
・耐環境性能
・超高速通信



### エネルギー・環境

・新エネルギー
・CO2削減
・先端研究分野
・省エネモジュール
・etc

## 目指す姿

### 安全

・超高精度時間計測よる災害予測の向上
・宇宙観測による地球への影響予測
・位置情報精度向上による自動運転の実現
・量子技術による安全な通信の実現

### 安心

・先端光技術による認知症等の予防&治療
・光技術による侵襲を伴わない医療機器開発
・光技術による小型で簡単な介護支援機器開発
・遠隔操作での医療診断・検査・治療

### 快適

・AI＆ロボティクスによる作業工程の自動化
・高解像度観察装置による検査品質の向上
・高精密・高分解能な測定・計測機器の開発
・量子コンピューティングマシンの実現

### 環境

・光技術による消費電力の効率化
・モジュールの小型化による省エネ構造実現
・クリーンエネルギーの活用によるCO2削減
・創エネルギーの多様性と有効活用の取り組み

# 事業別戦略　▶ 要素部品事業

光を扱うために必要な部品やユニット製品です。
レーザ光の集光・反射等に利用するレンズやミラー、それらを固定させるホルダーや微細な位置決め用のステージ、遠隔操作や自動操作のための電源やソフトウェアを追加した自動応用製品等を提供しています。

## ■ 主要製品

### 光学素子・薄膜製品

ミラー、レンズ、プリズム等
光の形状や向きを変えたり、
必要な光を取り出すための
ガラス製品＆結晶製品

### 光学基本機器製品

光学素子・薄膜製品の固定や
対象物の微細な位置決めを
するホルダー、ステージ等の
金属加工製品

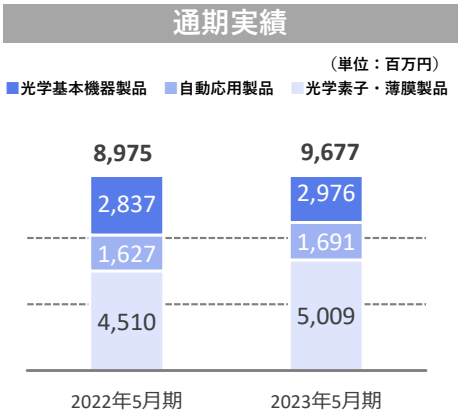
### 自動応用製品

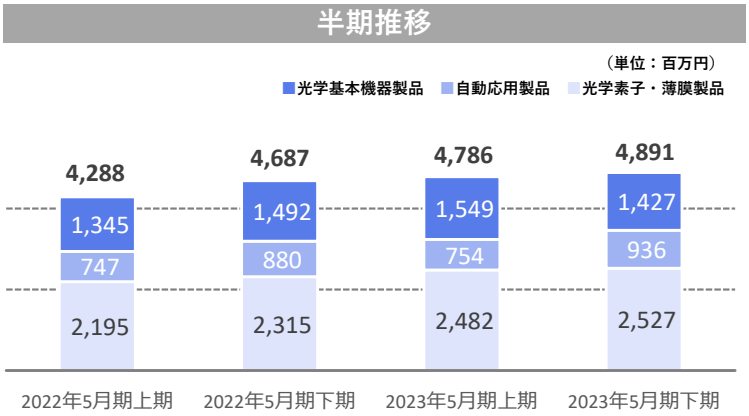
光学基本機器製品にセンサー
やモータ等を取りつけて遠隔
操作・自動制御等を可能に
した制御機器製品

## ■ 主な用途

半導体等の産業装置向け　バイオ等観察用途　通信関連調芯装置　その他最先端研究向け等

## ■ 業績サマリー（連結）




## ■ 2023年5月期の概況

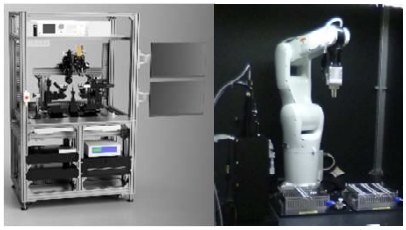
大学・官公庁向け及び産業分野向けともに堅調に推移しました。国内・アジア地域は、国内を中心とした一部の電子部品・半導体業界向けの光学基本機器製品や光学素子・薄膜製品が好調に推移し、バイオ業界、通信業界向けの自動応用製品は堅調に推移しました。米国地域、欧州地域ともに堅調に推移し、東南アジア地域は、COVID-19の影響が徐々に改善し、回復基調で推移しました。

## ■ 今後の取り組み

要素部品事業における事業環境は、先端技術分野を中心に緩やかな成長が継続すると見込んでいます。このような中、当社では既存工場棟の増築・リノベーション及び新工場棟の建設等の他、高性能加工装置及び測定装置等の導入等の設備投資を進めています。また、AIや自動化という新たな技術を積極的に取り込み、生産技術の改革に取り組んでいます。これらの設備の稼働開始や効率的な活用等による高品質・高付加価値製品の生産能力増強及び生産性向上を進めて、持続的な事業成長を推進していきます。

**シグマ光機の総合力を活かしたシステム製品です。**
**光学要素部品で培った製造技術と、レーザ応用分野での豊富な実績で、測定・検査用途、評価・分析用途、生産・組立用途に至るまで、研究・開発用、産業用として多方面で採用されています。**

## ■ 主要製品



### 光学システム製品

**研究開発分野から産業用途まで、光技術を応用したシステム製品を設計・開発・製造しています。**

### 光学モジュール・光学ユニット製品

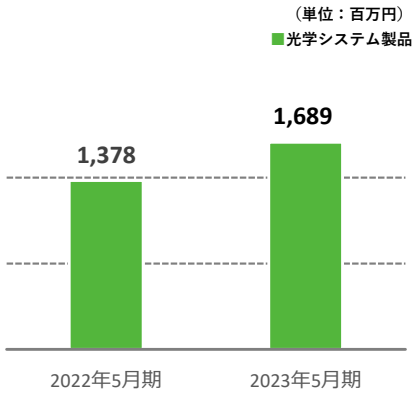
**様々な装置や機器等への組み込み用途として、モジュール及びユニット製品を提供しています。**

## ■ 主な用途

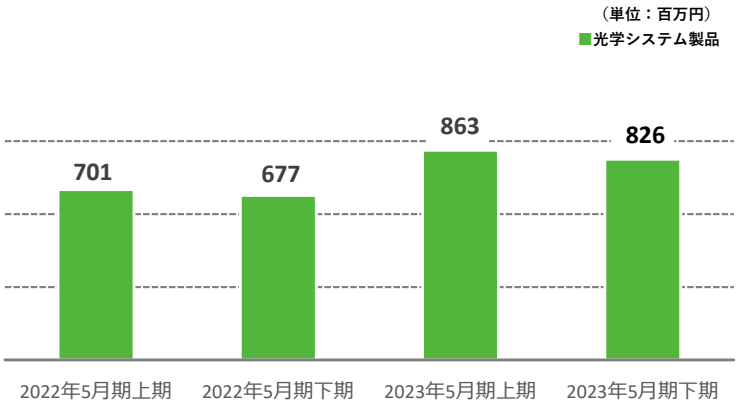
**半導体等の産業装置向け**　**バイオ等観察用途**　**医療・介護関連**　**航空・宇宙**　**その他**

## ■ 業績サマリー（連結）

**通期実績**




**半期推移**




## ■ 2023年5月期の概況

エレクトロニクス分野を中心に総じて堅調に推移しました。フラットパネルディスプレイ業界向けのレーザ加工機・検査装置向けの組込み用途の光学ユニット製品が堅調に推移するとともに、一部の大口のお客様への光学システム製品の納品が進み、大幅な増収となりました。また、電 子部品・半導体業界向けは堅調に推移し、医療業界及び防衛業界向けは横ばいで推移しました。

## ■ 今後の取り組み

システム製品事業における事業環境は、エレクトロニクス分野向けを中心に堅調な推移を見込んでいます。一方、産業分野を中心に最先端技術の社会実装に向けた試作品の需要が増加する等、開発要素の多い特注案件も多く、案件によっては利益率が低い状況が続いています。このような中、当社コア技術の融合・複合の推進による高品質・高付加価値製品の早期市場投入を進めるとともに、成長性の高い有力市場向けのＯＥＭ・ＯＤＭ案件の創出に積極的に取り組み、量産化によるボリュームメリットを生かした収益改善を実現し、売上高・利益ともに持続的な成長を目指していきます。

# シグマ光機グループ　サステナビリティ基本方針

シグマ光機グループは、「我社は光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念のもと、その実践を通じて社会課題の解決と持続可能な社会の実現への貢献に取り組んでいます。

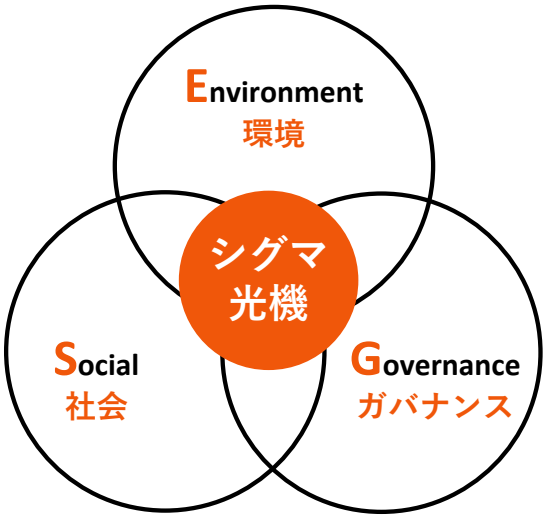
1. 社会の持続可能な発展への貢献
2. 健全な企業活動
3. 人権の尊重
4. 自然環境の保全
5. 社会との調和

詳細はこちらからご覧ください。
https://www.sigma-koki.com/sustainability/sustainability-policy/

## 基本的な考え方

シグマ光機グループは、「Light Solutions for Life®」をブランド・ステートメントとして掲げており、当社の中核技術である光技術を通じて社会課題や環境課題に取り組む中で、「暮らし」や「いのち」を支える価値ある光ソリューションを提供し、持続可能な社会価値を創出することを目指しています。

また、「光ソリューション・カンパニー」として、すべてのステークホルダーから信頼され、かつ持続的に企業価値を向上させることを目的として、「サステナビリティ基本方針」「シグマ光機行動規範」を定めています。この基本方針・行動規範の下、社会課題解決及び持続可能な社会への貢献に向けて、適切かつ誠実な企業活動を推進しています。




### サステナビリティへの取り組み

ESG「Environment（環境）」、「Social（社会）」、「Governance（企業統治）」の3つの軸に基づいて、サステナビリティ活動を推進しています。

詳細はこちらもご覧ください。
https://www.sigma-koki.com/sustainability/

## サステナビリティ推進体制

サステナビリティ推進に関するグループ全体の取り組みを効率的に推進するため、経営幹部検討会の配下に、経営企画部門を事務局とする「CSR推進会議」を設置しています。「CSR推進会議」は、原則として半年に１回開催され、活動状況を「経営幹部検討会」に報告し、重要事項については、取締役会に諮っていきます。これらの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現および当社グループの持続的な企業価値の向上を目指していきます。

### CSR推進会議

**構成メンバー**

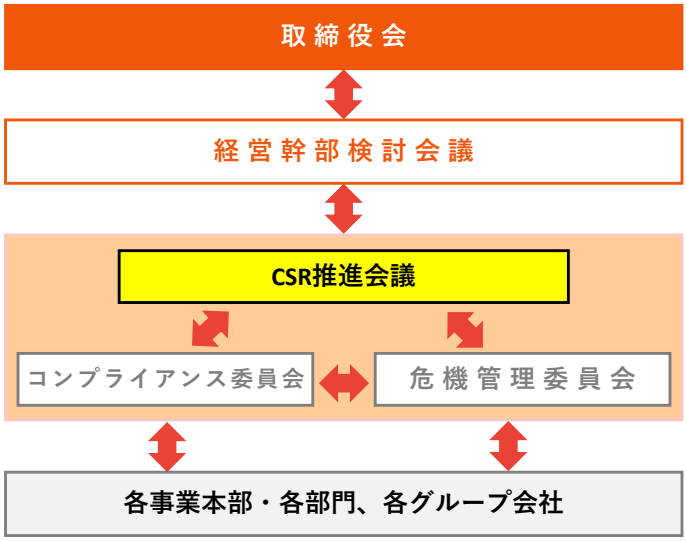
議　　長：　代表取締役社長

構 成 員：　常勤取締役員、執行役員、各事業部門長、各グループ会社役員

事務局長：　管理本部経営企画G

**主な活動内容**

- ●サステナビリティ推進に関する基本方針の策定
- ●サステナビリティ推進上の重要課題について協議・立案
- ●サステナビリティ推進活動の実施状況の把握、監査
- ●サステナビリティ推進に関する情報の集計及び管理等




サステナビリティ推進体制図

## リスク管理

サステナビリティに係るリスクを含む全てのリスクの予防・極小化に向け、経営幹部検討会の配下に、代表取締役社長を委員長とし、管理本部を事務局とする「危機管理委員会」並びに「コンプライアンス委員会」を設置しています。両委員会は、四半期に1回及び必要に応じて臨時に開催されており、重要課題については、協議内容を「経営幹部検討会議」へ報告しています。「経営幹部検討会議」で協議・承認された内容は、当社グループ戦略に反映され、事業活動を通して対応しています。その他、事業リスクに関する個別のテーマについては、それぞれのテーマに関わる各担当部門がリスクを認識・把握するとともに、管理部門を中心として組織横断的なリスクへの対応を図っています。

### 主なリスク管理実例

- ●公的研究費の不正使用及び不正行為に関する対策
- ●新型コロナウイルス感染症対策
- ●EMOTET（マルウェア）対策
- ●コーポレートガバナンスコード対応等

# E：環境への取り組み

## 環境マネジメントシステム

### 基本的な考え方

当社グループは、「常に持続可能な社会への貢献を意識した経営を行います。」という経営理念のもと、ISO14001：2015年版の認証を取得しており、「環境方針」を策定しています。
「環境方針」のもと、環境保全に関する社会のニーズに対応し、法的要求事項の順守、及び継続的改善を行うことを目的に、ISO14001規格に適合する形で「環境マネジメントシステム」を構築しています 。

### 環境管理委員会

環境方針を実現する「環境マネジメントシステム」の有効性を確保するために、環境管理責任者を委員長とする「環境管理委員会」を設置しています。「環境管理委員会」では、環境目標の設定やその評価を行っており、四半期ごとの経営者レビュー及びフォローアップを通じて、継続的な改善を図っています。これらの一連の環境活動を推進し、持続可能な循環型社会の構築に貢献していきます。

「環境方針」の詳細はこちらからご覧ください。
https://www.sigma-koki.com/sustainability/environment/quality-policy/

### 環境関連データ一覧表（単体）

| 環境関連データ | | | | 2021年5月期 実績 | 2022年5月期 実績 | 2023年5月期 実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全社 | 電力消費量 | | kWh | 5,534,877 | 5,643,549 | 5,354,507 |
| | コピー用紙消費量 | | 枚／A4換算 | 1,400,025 | 1,366,213 | 1,283,771 |
| | 廃棄物量 | | kg | 30,933 | 33,414 | 38,003 |
| | 燃費 | 給油量 | ℓ | 14,036 | 10,925 | 14,958 |
| ※本社・日高工場 | LPガス使用量 | | $m^3$ | 4,348 | 4,092 | 4,353 |
| | 水道使用量 | | $m^3$ | 7,062 | 7,047 | 8,293 |
| | 工場排水水質指標（※BOD値） | 最終枡 | mg/ℓ（平均値） | 9.1 | 9.3 | 20.9 |

※2023年5月期：　2022年6月1日～2023年5月31日
2022年5月期：　2021年6月1日～2022年5月31日
2021年5月期：　2020年6月1日～2021年5月31日
※全社環境データのうち、本社・日高工場がほとんどを占める項目は、本社・日高工場データを管理しています。
※BOD＝生物化学的酸素要求量。 水質指標の一つ。高いほど水質は悪いとされます。最終枡での上限値は25mg/ℓ。

## 温室効果ガスの排出量の削減

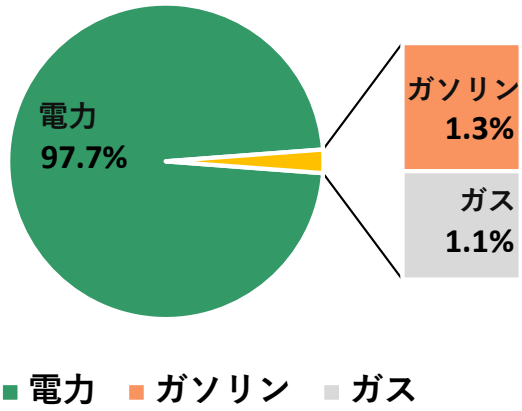
気候変動に伴う環境変化リスクに対応すべく、脱炭素社会の実現を目指して、温室効果ガス（$CO_2$）の排出量の削減に取り組んでいます。再生可能エネルギーへの導入や、業務効率化及び省エネ・省資源の推進、及び会社保有車両の台数低減等に取り組み、温室効果ガスの排出量を削減していきます。

### $CO_2$排出量実績（単体）

| | 2022年実績 | 2023年実績 | 増減率 |
|---|---|---|---|
| $CO_2$排出量(合計)（t） | 2,583 | 2,615 | +1.2% |
| Scope 1（t） | 52 | 61 | |
| Scope 2（t） | 2,531 | 2,554 | |
| 再生可能エネルギー活用による$CO_2$削減量（t） | 139 | 130 | △6.4% |

※2023年：　2022年4月1日～2023年3月31日
2022年：　2021年4月1日～2022年3月31日

### ※2023年$CO_2$排出量内訳（単体）




※2023年：　2022年4月1日～2023年3月31日

## $CO_2$削減　再生可能エネルギーの導入

2023年（2022年4月1日～2023年3月31日）の再生可能エネルギーの導入による$CO_2$削減量は、130tとなりました。太陽光発電の活用、 ポータブル蓄電池の備蓄、小型風力発電の開発・導入を進め、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます。

▲本社・日高工場の太陽光パネル設置の様子

▲東京本社の室内太陽光発電機とバッテリー（左）
東京本社の屋上の風力発電の様子（右）

# S：社会への取り組み

## 従業員への取り組み

### 基本的な考え方

当社グループは、「人材」こそ、すべての価値創出の源泉であるという考え方に基づき、ジェンダーや国際性、年齢等に関わらず、すべての従業員一人ひとりがそれぞれの個性と能力を最大限発揮し、やりがいを持って働き続けることを目指して、様々な取り組みを進めています。

### 人材育成　会社の継続的発展に向けた取り組み

▲中堅社員向け研修

すべての従業員が「主体性」をもって行動し、「協働」する、「多様性」と「専門性」を兼ね備えた人材育成を目指しています。当社オリジナル教育プログラムであるWWS(女性幹部育成)・MCS(中堅社員育成)・YPS(若手社員育成)による従業員教育等、それぞれの職位に沿った教育・研修を推進しています。また、様々な事業に関わる当社ビジネスモデルを活かした業務ローテーション等、従業員のキャリア形成を支援しています。

### 社内環境整備　すべての従業員が継続して働ける環境づくり

▲女性社員向け研修

多様な人材が働きやすい環境・風土が重要と考えています。多様性を尊重するとともに、公平な採用及び活用を推進する他、すべての従業員が継続して働ける環境づくりに向けて、女性活躍推進にも取り組んでいます。また、就業制度の改善、IT活用等、新たな価値創造活動が評価される組織と制度への変革を目指しています。健康面では、心身ともに健康で、働きやすい社内環境整備に取り組んでいます。

### 社会関連データ一覧（単体）

| | | 2023年5月期 実績 |
|---|---|---|
| 女性管理職比率 | | 2.6 % |
| 男女の賃金の格差 | 全労働者 | 61.9 % |
| | 正規雇用労働者 | 64.5 % |
| | 非正規雇用労働者 | 96.1 % |
| 採用人数女性比率 | 全労働者 | 46.7 % |
| | 新卒採用 | 50.0 % |
| | 中途採用 | 42.9 % |
| 連結グループ子会社・関連会社役員経験者比率 | | 42.1 % |

1．各指標における実績は、提出会社の従業員の状況となります。
2．男女の賃金格差は、男性の賃金に対する女性の賃金の割合です。同一労働の賃金に差異はなく、等級別人数構成の差及び管理職に占める女性の割合によるものです。非正規労働者は、個人ごとに契約労働時間の異なるパートタイム労働者のため、差異が生じています。
3．連結グループ子会社・関連会社役員経験者比率は、当社副部長以上の中で、当社グループ子会社・関連会社役員兼任者及び過去１回以上当社グループ子会社・関連会社役員兼任経験者となります。サクセッションプランも踏まえて、グローバル視点及び経営経験を持った人材育成を進めています。

## 次世代育成

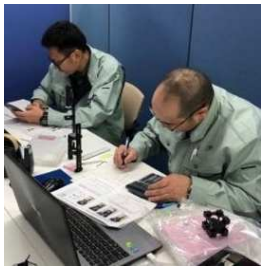
### 光の寺子屋　将来の光技術者育成のための教育支援活動展開

長年培ってきた光学知識等を活かして、光技術者の育成に向けた教育支援活動を展開しています。CORAL(※)の開設時から講義・実習に参画する他、社会人生涯学習センターや個別企業向けのレーザ安全セミナー等の開催、小・中学生向け課外学習等を実施しています。

◀東京大学でのCORAL(※)実習（左）
中学生向け課外学習の実施（右）

※CORAL：先端レーザー科学教育研究コンソーシアム。東京大学を中心とした単位取得が可能な講座。

### 新興国支援　モンゴル国で光産業創出に向けた支援活動を実施



▲モンゴルの大学教員への教育支援

▲モンゴル国厚生労働省からの感謝状（左）
モンゴル国児童からの感謝の絵（一部）（右）

新興国における光産業の創出の支援活動として、2018年からモンゴル国の現地大学の講座開設の支援活動を行っています。2022 年12月には、石川県志賀町と連携し、モンゴル国の保育関係者からの 保育施設の視察を受け入れました。

## 健康社会の実現

### 健康・福祉　健康関連製品の寄贈

新型コロナウイルス感染症の拡大の中、当社で販売を開始した「オキサモメーター(※)」を墨田区・江東区・江戸川区の区役所や近隣の病院等に寄贈しました。寄贈先からは、「患者の健康状態の数値管理等に役に立った」等の感謝の声をいただきました。今後も、社会に役に立つ製品の提供を使命として取り組んでいきます。

※オキサモメーター：
世界初！血中酸素濃度を測るパルスオキシメーターと非接触皮膚赤外線体温計が一体となった管理医療機器認証を取得した新製品。

▲墨田区からの感謝状（左）
「オキサモメーター」実機（右）

# G：ガバナンンスへの取り組み

## コーポレートガバナンス基本方針

### 基本的な考え方

「皆様の社会やくらし、そしていのちを支える価値ある光ソリューションの提供」というものづくり企業としての責任のもと、公正・健全かつ透明な事業活動を通じて、社会課題の解決と持続可能な社会の発展に貢献することを目指しています。 当社は、コーポレートガバナンス基本方針のもと、公正・健全かつ透明な当社グループの持続的な成長と企業価値の向上の実現を目指します。

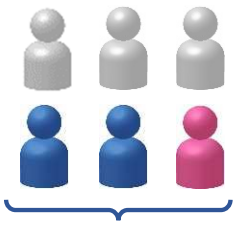
### コーポレートガバナンス推進体制

#### コーポレート・ガバナンス体制(2023年8月29日現在)

| | |
|---|---|
| 機関設計 | 監査役会設置会社 |
| 取締役の任期 | 1年 |
| 執行役員制度 | 採用（雇用型） |
| 取締役会の下部組織 | 経営幹部検討会 |
| 取締役会の任意委員会 | 任意の指名委員会及び報酬委員会を設置 |
| 会計監査人（在任期間） | 太陽有限責任監査法人（1年） |

※1　定款上の取締役の員数は10名以内
※2　定款上の監査役の員数は4名以内

取締役6名※1



社外取締役3名
（うち1名女性）

監査役3名※2

社外監査役3名
（うち1名女性）

詳細は、下記の当社ホームページにてご確認ください。
https://www.sigma-koki.com/sustainability/governance/corporate-governance/

## スキルマトリクス

当社では、取締役会の実効性の確保に必要なスキル（知識、能力、経験等）を、経営戦略などの重要な事項の判断及び職務執行の監督の観点から以下のとおりとし、スキルマトリクスで明示化しています。

| 職位 | 番号 | 氏名 | | 管掌分野 | ① 企業経営 | ② 生産・技術・研究開発 | ③ 営業・企画・マーケティング | ④ 財務・会計・ファイナンス | ⑤ 人事・労務・人財育成 | ⑥ 法務・ガバナンス・リスクマネジメント | ⑦ ICT・デジタル戦略・DX | ⑧ 国際ビジネス・グローバリゼーション | ⑨ ESG・サステナビリティ・多様性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 取締役 | 1 | 近藤　洋介 | 業務執行 | 経営全般 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | □ |
| | 2 | 石井　康之 | 業務執行 | 財務・会計・人事・法務・IT | □ | | | ● | | □ | | | □ |
| | 3 | 多幡　能徳 | 業務執行 | 技術開発 | □ | ● | ● | | ● | □ | | | □ |
| | 4 | 小澤　勉 | 社外 | | | ● | | | | | | | |
| | 5 | 野﨑　誠 | 独立・社外 | | ● | | | ● | | ● | | | |
| | 6 | 松尾祐美子 | 独立・社外 | | | | | | | ● | | ● | ● |
| 監査役 | 1 | 上野　健司 | 常勤・社外 | | | | | ● | | ● | | | |
| | 2 | 南雲　幸一 | 社外 | | ● | | | | ● | ● | | | ● |
| | 3 | 熊﨑美杉 | 独立・社外 | | | | | ● | | ● | | | |

※上記一覧表は、各人の有するすべての知見や経験を表すものではありません。
※業務執行取締役につきましては、今後さらなる能力開発が期待される分野については、□で記載しています。

## 役員の指名・選解任/任意の指名委員会

当社は、取締役・監査役の選任基準、指名・選解任の手続きについて、基本方針を定め、当社ホームページに掲載しています。指名・選解任の実施に際しては、取締役会が社外取締役を委員長（議長）とする任意の指名委員会に諮問し、その答申を受けて取締役会での検討・審議を経て、取締役会において決定しています。また、取締役・監査役の構成に関しては、取締役会、監査役会の多様性に配慮した上で、当社の経営体制に必要な役員のスキル・マトリクスやエクスペリエンス・マトリクス等を策定し、多様な知識・見識や経験をもって取締役会全体として受託者責任が果たせる構成にするよう努めています。

※任意の指名委員会の構成：　全委員　5名（社内取締役　1名、社外取締役　3名、その他　1名）

## 取締役会の実効性評価の実施

当社は、取締役会に期待される機能が適切に機能しているかを分析・評価し、継続的な改善を図っていくために、毎年、各取締役及び各監査役に取締役会の実効性に関する有記名のアンケート調査を実施しています。アンケートの評価結果については、取締役会に報告し、取締役会のさらなる機能向上に取り組んでいます。

### 取締役会実効性評価の実施方法

**評価対象：**　当社取締役　全体

**評価方法：**　自己評価による取締役会の実効性に係る評価を実施

**アンケート項目：**

- ●会社の機関設計
- ●取締役会の運営
- ●ステークホルダーとの対話
- ●取締役会の構成
- ●取締役会の支援体制
- ●その他

### 取締役会の実効性に関する評価結果の概要（2023年5月期）

今回の取締役会の実効性については、取締役会の実効性が概ね確保されていると評価しました。
特に、「取締役会の議論の質」や、「取締役会資料の配布時期」等、取締役会の運営に関する項目の評価が向上しました。一方で、「ステークホルダーとの対話（ＩＲ対応）」、「取締役会の構成（役員の報酬・指名など）」、「取締役会の支援体制（役員トレーニングなど）」等の面では改善の余地が示されました。

#### 実効性評価結果を踏まえて今後の取り組み：

- ●当社企業価値の理解促進に向けた株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様への情報開示の充実
- ●定時取締役会での当社 IR 活動状況の確認及び定期的なフィードバックの実施
- ●計画的・定期的な任意の指名委員会・任意の報酬委員会の開催
- ●社外役員と経営トップや事業部門トップとの面談の機会並びに役員トレーニングの機会の増加
- ●連結グループ全体の中期経営目標の達成状況やその対応策に関する議論の充実

# 拠点一覧

## 本社・日高工場

〒130-1297 埼玉県日高市下高萩新田17-2
TEL：042-985-6221（代）/ FAX：042-985-6561

## 東京本社

〒130-0021 東京都墨田区緑1-19-9
TEL：03-5638-6551（代）/ FAX：03-5638-6550
[営業]E-mail：sales@sigma-koki.com
[総務]E-mail：info@sigma-koki.com

## 大阪支店

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-9-28
TAIYO センタービル6F
TEL：06-6307-4835（代） / FAX：06-6307-4834
E-mail：sales.osaka@sigma-koki.com

## 九州営業所

〒812-0013福岡県福岡市博多区博多駅東1-17-25
TEL：092-481-4300（代）/ FAX：092-481-4310
E-mail：sales.kyushu@sigma-koki.com

## 能登工場（石川県先端産業条例指定工場）

〒925-0375石川県羽咋郡志賀町若葉台62-1
能登中核工業団地内
TEL：0767-38-1114（代）/ FAX：0767-38-1651

## 技術センター

〒924-0838 石川県白山市八束穂1-1
石川ソフトリサーチパーク内
TEL：076-274-6100（代） / FAX：076-274-6103

## ■ 関連企業

### タックコート株式会社

TAC COAT CO.,LTD.

〒395-0807　長野県飯田市鼎切石4144-5
TEL：0265-21-2211 / FAX：0265-21-2088
光学薄膜製品の製造・販売

### LMS株式会社

LMS株式会社

〒924-0838　石川県白山市八束穂1-1
石川ソフトリサーチパーク内
メディカル・ヘルスケア業界向け医療機器並びに
光学・電気機器などの開発・製造・販売

# グローバルネットワーク

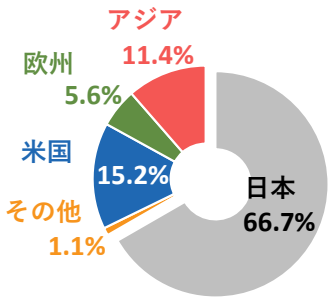
シグマ光機グループは、国内外の生産・販売拠点を活用し、グループの総合力を活かして、『最高品質・高付加価値』と『安定品質・市場流通価格』という二極化するお客様のニーズに対応しています。海外売上高比率も33.3%を占め、着実な成長を遂げています。市場の拡大傾向が続く各エリアでは、さまざまな市場ニーズに応えて、高品質な製品の提供に取り組んでいます。

**2023年5月期実績**

■売上高（連結）
**11,367百万円**

■海外売上高比率
**33.3%**

**地域別売上高構成比**



## 米国

**OptoSigma Corporation**
3210 S.Croddy Way, Santa Ana California 92704 U.S.A.
TEL：+1-949-851-5881 / FAX：+1-949-851-5058
E-mail：sales@optosigma.com

## 欧州

**OptoSigma Europe S.A.S.**
3 rue de la Terre de Feu, 91940 Les Ulis, Essonne, FRANCE
TEL：+33-1-6918-1700 / FAX：+33-1-6010-0929
E-mail：sales@optosigma-europe.com

## アジア・オセアニア

**OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.**
83 Science Park Drive, #02-01, The Curie, Singapore 118258
TEL：+65 6909 9318 / FAX：+65-6909-9330
E-mail：sales@optosigma-sea.com

**SHANGHAI SIGMA KOKI CO., LTD.**
3355 JIN DU ROAD, XINZHUANG INDUSTRIAL ZONE, MINHANG, SHANGHAI 201108 CHINA
TEL：+86-21-5442-4309 / FAX：+86-21-5442-2758

## 海外展示会出展

### グローバルブランド「OptoSigma®」認知度向上に向け主要展示会へ継続出展

**ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。**

展示会では、需要が高いスタンダード製品に加え、マーケットトレンドの「高精度」、「高品質」、「高耐久」や「省エネ化」、「自動化」に対応した新製品のライ ンナップを拡充し、協力企業様とのコラボ製品を展示する等、多様化する顧客ニーズへの「提案力」、「対応力」をアピールした結果、来場者からもご好評をいただきました。

**●主要な展示製品（一部抜粋）**

▲「自動外観検査装置」（左）と拡大（右）

▲ バイオ・メディカル用のイメージング装置

## DX戦略「RFIDシステム」による在庫管理効率化

### 「人海戦術」から「デジタル戦術」へ。<br>人員の削減、作業時間の短縮、在庫管理の精度向上などに取り組む。

▲RFIDシステムによる作業様子

▲RFタグを貼付した当社製品

**RFID：** 情報が書き込まれたRFタグからの電波を無線通信を介し非接触で読み取りするシステム。

**RFIDの特徴：**

①非接触・遠距離によるデータ読み取り
　→（例）箱の中の製品を箱を動かさずに確認する等
②同時に複数タグを一括読み取り
　→（例）作業時間短縮、カウント漏れ防止、重複カウント防止等
③データの書込みが可能等
　→（例）製品情報：製品型番、シリアル番号、製造年月日等

人が1つ1つ製品をカウントする「人海戦術」から、製品に貼られたRFタグの電波を読み込む「デジタル戦術」へ切り替えることで、棚卸作業、在庫確認作業、入出庫管理作業等の時間短縮や誤作業防止等に高い効果が期待できます。
今後もデジタル技術の活用に取り組み、 生産性向上、業務プロセスの改善、働きやすい職場環境の構築等を進めていきます。

「光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念の実現に向けたグローバル戦略の一環として、様々なステークホルダーの皆様に当社グループの価値観をお届けするブランド戦略を展開しています。

## グローバルブランド「OptoSigma®」

### Optics ＆ Photonics（光学）＋　Sigma（総和・融和・協調）

当社グループが長年に亘り光学分野で培ったオンリーワン・ナンバーワン技術を「融合・伝承」し、未来が求める新しい「光ソリューション」を提案することが、皆様の「暮らし」と「いのち」を支え、社会貢献につながると考えています。
海外でプロダクトブランドとして先行していた「OptoSigma®」ブランドを2014年1月1日よりグローバルブランドに位置づけ、世界で展開を進めています。

▲米国展示会での「OptoSigma®」

## ブランド・ステートメント「Light Solutions for Life®」

Light Solutions for Life®
光なら、きっとできる。

皆様の「暮らし」や「いのち」に関わるさまざまな分野を「光技術の弛まぬ革新」と「光ソリューションの提供」で支えていくという、シグマ光機グループの「ものづくり」に対する事業姿勢を表しています。

## 公式キャラクター「OPMA(オプマ)」「KOPMA(コプマ)」

皆様ともっと近く寄り添うために生まれた「OptoSigma®」ブランドの公式キャラクターです。
「アイ・キャッチ」「ナビゲーター」「コミュニケーター」という大きな3つの役割をもって、WebやSNS、展示会等のさまざまな場面で活躍しています。

◀当社キャラクター
OPMA（左）とKOPMA（右）

▲展示会ではKOPMAがお出迎え

▲各拠点の受付にもいます。

テーマソングもあります♪
こちらよりご確認ください。

## 新しいマーケティングキャンペーン「Project Avatar」

▲「Project Avatar」1巻（左）と主人公のKAZU（右）

「Project Avatar」は、ガンマ線によって生まれ、優れた知性を持つロボットヒーロー「KAZU」が繰り広げるＳＦベースの冒険物語です。
コミックタイプの新しいマーケティングツール「Project Avatar」を通じて、グローバルマーケットでのユニークなブランド構築とともに、将来の光学分野を担う学生や若い研究者等の幅広い人材層とつながる等、持続可能なブランド価値の訴求に取り組んでいます。

「Project Avartat」はこちらから
読むことができます。（英語版のみ）▶

# 財務・非財務ハイライト（5ヵ年）

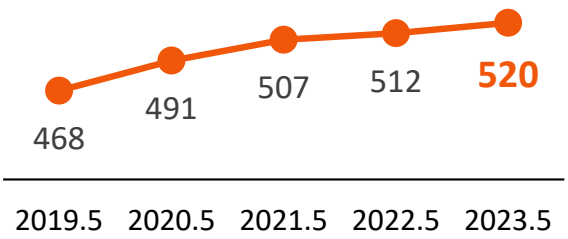
## 財務ハイライト

（単位：百万円）

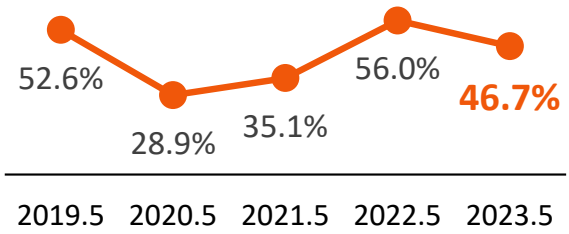
| | 2019年5月期 | 2020年5月期 | 2021年5月期 | 2022年5月期 | 2023年5月期 |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 9,047 | 8,493 | 8,765 | 10,354 | 11,367 |
| 売上原価 | 5,371 | 5,265 | 5,406 | 6,269 | 6,926 |
| 販売管理費 | 2,551 | 2,515 | 2,376 | 2,646 | 2,936 |
| 営業利益 | 1,123 | 711 | 983 | 1,437 | 1,504 |
| 営業利益率（%） | 12.4 % | 8.4% | 11.2 % | 13.9 % | 13.2 % |
| 経常利益 | 1,246 | 840 | 1,152 | 1,614 | 1,690 |
| 親会社株式に帰属する当期純利益 | 828 | 595 | 822 | 1,170 | 1,493 |
| 設備投資 | 986 | 682 | 190 | 198 | 839 |
| 営業活動CF | 869 | 1,144 | 1,577 | 942 | 982 |
| 投資活動CF | △825 | △297 | △1,486 | △708 | 182 |
| 財務活動CF | △420 | 142 | △370 | △532 | △112 |
| 現金および現金同等物の期末残高 | 2,516 | 3,449 | 3,247 | 3,135 | 4,330 |
| 配当金（円） | 40 | 40 | 40 | 40 | 42 |
| 配当性向（%） | 34.2 % | 47.6 % | 34.4 % | 24.2 % | 19.9 % |
| 株価収益率（PER）（倍） | 10.09 倍 | 13.91 倍 | 14.68 倍 | 9.04 倍 | 7.23 倍 |
| 自己資本利益率（ROE）（%） | 6.65 % | 4.64 % | 6.15 % | 8.16 % | 9.60 % |
| 株価純資産倍率（PBR）（倍） | 0.67 倍 | 0.65 倍 | 0.90 倍 | 0.74 倍 | 0.69 倍 |

## 非財務ハイライト

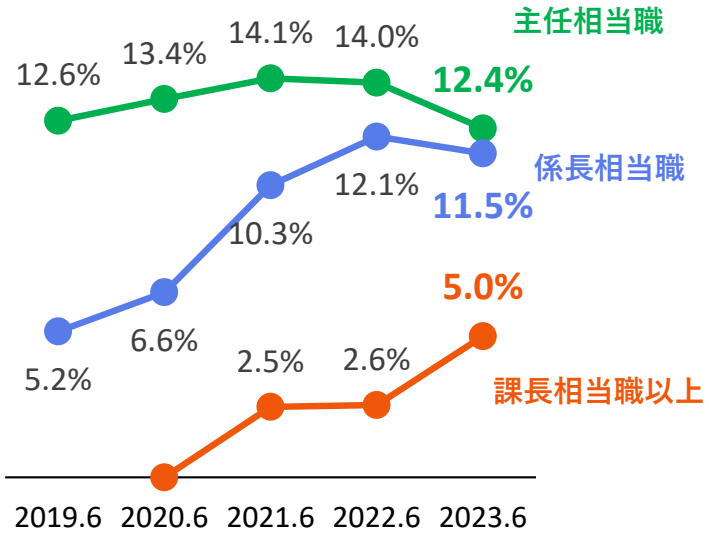
社員数 **520**名（連結）




採用者の女性割合 **46.7** %（単体）




女性役職者比率（単体）　※期初時点(6月1日)。



## ■会社概要（2023年8月29日現在）

| | |
|---|---|
| ■社名 | シグマ光機株式会社 |
| ■本社 | 埼玉県日高市下高萩新田17番地2 |
| ■設立 | 1977年（昭和52年）4月 |
| ■資本金 | 26億2,334万円 |
| ■従業員数 | 367名（2023年5月31日現在） |
| ■役員 | 代表取締役社長　近藤 洋介<br>取締役　石井 康之<br>取締役　多幡 能徳<br>取締役（社外）　小澤 勉<br>取締役（社外）　野﨑 誠<br>取締役（社外）　松尾 祐美子<br>常勤監査役(社外)　上野 健司<br>監査役（社外）　南雲 幸一<br>監査役（社外）　熊﨑 美杉 |

（注）社外取締役　野﨑誠氏及び松尾祐美子氏、社外監査役上野健司氏及び熊﨑美杉氏の4氏は独立役員であります。

## ■株式の状況（2023年5月31日現在）

| | |
|---|---|
| ■発行可能株式総数 | 32,000,000株 |
| ■発行済株式総数 | 7,552,628株 |
| ■株主数 | 5,403名<br>（前期末比237名増） |

■主要株主

| 株主名 | 所有株数（千株） | 持株比率（%） |
|---|---|---|
| 浜松ホトニクス株式会社 | 1,000 | 14.11 |
| シグマ光機取引先持株会 | 445 | 6.29 |
| シグマ光機従業員持株会 | 216 | 3.04 |
| 株式会社ツシマ | 215 | 3.04 |
| 株式会社埼玉りそな銀行 | 203 | 2.86 |
| 富国生命保険相互会社 | 200 | 2.82 |
| 株式会社サンライズクリエート | 148 | 2.09 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 147 | 2.08 |
| 杉山大樹 | 110 | 1.56 |
| 株式会社三井住友銀行 | 110 | 1.55 |

(注) 1．所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2．持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しています。
3．持株比率は、自己株式（470,450株）を控除して計算しています。

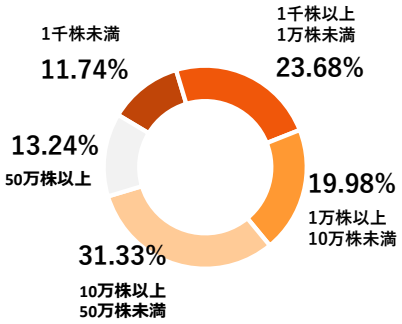
## ■事業所

- ●本社・日高工場
- ●東京本社
- ●大阪支店
- ●九州営業所
- ●能登工場
- ●技術センター

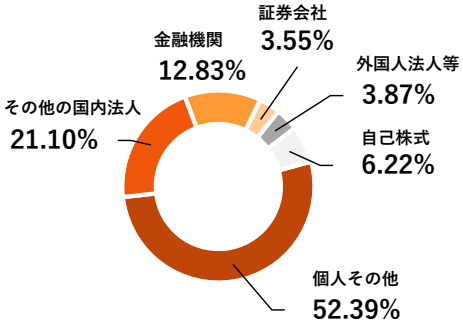
## ■子会社・関連会社

- ●OptoSigma Corporation
- ●OptoSigma Europe S.A.S.
- ●OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.
- ●上海西格瑪光机有限公司
- ●LMS株式会社
- ●タックコート株式会社

## ■所有株数別株式分布状況




## ■所有者別株式分布状況




(注) 1．所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2．持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しています。
3．持株比率は、自己株式（470,450株）を含んでいます。

## ■株主メモ

| | |
|---|---|
| ■事業年度 | 毎年6月1日から翌年5月31日まで |
| ■定時株主総会 | 毎年8月開催 |
| ■基準日 | 定時株主総会　毎年5月31日<br>期末配当金　毎年5月31日<br>中間配当金　毎年11月30日 |
| ■単元株式数 | 100株 |
| ■公告方法 | 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| ■電子公告URL | https://www.sigma-koki.com/ |

# Pick Up 製品紹介

## 費用は１／１０の高性能な「超広視野顕微鏡」。細胞1個と、100万個以上の細胞集団の同時観察が可能。

### 「SeMATERAS」シリーズ

市販顕微鏡に比べて非常に広い視野の観察を
極めて低価格で実現した光学顕微鏡です。

詳細はこちら

## マイクロメータからナノオーダーへ。サブミクロンの高分解能での位置決めを実現。

### 「ナノステージ」シリーズ

1ナノメータ（1/1,000マイクロメータ）の高分解能で
位置決めができるフィードバックステージです。

詳細はこちら


シグマ光機株式会社 https://www.sigma-koki.com/

**[本社・日高工場]**
〒350-1297 埼玉県日高市下高萩新田17-2
TEL：042-985-6221（代）FAX：042-985-6561

**[東京本社]**
(営業部)
〒130-0021 東京都墨田区緑1-19-9
TEL：03-5638-6551（代）FAX：03-5638-6550
E-mail：sales@sigma-koki.com
(総務部)
TEL：03-5638-8221（代）FAX：03-5638-8222
E-mail：info@sigma-koki.com

**[大阪支店]**
〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-9-28
TEL：06-6307-4835（代）FAX：06-6307-4834
E-mail：sales.osaka@sigma-koki.com

**[九州営業所]**
〒812-0013福岡県福岡市博多区博多駅東1-17-25
TEL：092-481-4300（代）FAX：092-481-4310
E-mail：sales.kyushu@sigma-koki.com

**[能登工場]**（石川県先端産業条例指定工場）
〒925-0375 石川県羽咋郡志賀町若葉台61-2　能登中核工業団地内
TEL：0767-38-1114（代）FAX：0767-38-1651

**[技術センター]**
〒924-0838 石川県白山市八束穂1-1　石川ソフトリサーチパーク内
TEL：076-274-6100（代）FAX：076-274-6103

**Head Office / Hidaka Plant**
17-2, Shimotakahagi-shinden, Hidaka-shi, Saitama 350-1297
TEL: +81-42-985-6221 FAX: +81-42-985-6561

**Tokyo Head Office**
5F, SIGMA KOKI Tokyo Head office 1-19-9,Midori, Sumida-ku,
Tokyo, 130-0021, JAPAN
TEL: +81-3-5638-6551 FAX: +81-3-5638-6550
TEL: +81-3-5638-8228 (Overseas sales group / English)
E-mail: （Sales Department）international@sigma-koki.com
（General Affairs Department）info@sigma-koki.com

**Osaka Branch**
4-9-28Nishi-Nakajima,Yodogawa-ku,Osaka 532-0011
TEL: +81-6-6307-4835 FAX: +81-6-6307-4834
E-mail：sales.osaka@sigma-koki.com

**Kyushu Sales Office**
1-17-25 Hakata-eki-higashi, Hakata-ku, Fukuoka, 812-0013
TEL: +81-92-481-4300 / FAX: +81-92-481-4310
E-mail：sales.kyushu@sigma-koki.com

**Noto Plant**
61-2 Wakabadai, Shika-machi, Hakui-gun, Ishikawa 925-0375
TEL: +81-767-38-1114 / FAX: +81-767-38-1651

**Technology Center**
1-1 Yatsukaho,Hakusan-shi, Ishikawa 924-0838
TEL: +81-76-274-6100 / FAX: +81-76-274-6103